

① 次のA～Fの解説に当てはまる語句を①～④から選びなさい。

- A 媒体、手段の意味
- B アナログデータをデジタル化すること
- C 画像の最小単位
- D 画像の細かさ
- E 色空間
- F 色彩管理

- ①カラースペース ②画素 ③解像度 ④AD変換
- ⑤カラーマネジメント ⑥メディア

② 次のA～Dの解説に当てはまる語句を①～④から選びなさい。

- A 一般的なWebデザインの色指定に用いる色空間
- B 印刷物のDTP作業の色指定に用いる色空間
- C 色の三属性より構成される色空間
- D 色表示に16進法が用いられる色空間

- ①CMYK色空間 ②Webセーフカラー色空間
- ③RGB色空間 ④HSB色空間

★DTPはコンピューターを用いた印刷物作成のための作業。

③ 次のA～Dの解説に当てはまる語句を①～④から選びなさい。

- ・ディスプレイ上の色と印刷物の色のズレを解決するためには（ A ）が必要である。
- ・パソコンの色指定作業の際は、照明の色みである（ B ）や、画面の明るさである（ C ）にも気を配る。
- ・パソコン画面のRGB指定から、プリンターのCMYK指定へ変換するときに、（ D ）というデータを取得する。これはデバイスによる見えの違いを極力少なくするためのものである。

- ①カラーマネジメント（色彩管理） ②色温度
- ③カラープロファイル ④照度

④ 次のA～Cの解説に当てはまる語句を①～③から選びなさい。

- ・（ A ）は元々、ブラウン管ディスプレイで色再現することを目的とした色空間。色再現の範囲には一定の限界がある。
- ・（ B ）はアドビ社が開発した色空間。（ A ）よりも色再現領域が広がっている。つまり鮮やかな色の再現が可能である。
- ・（ C ）は色料を再現するための色空間。光の色を扱う（ A ）や（ B ）よりも、色再現領域は小さくなる。

- ①Adobe RGB色空間 ②sRGB色空間 ③印刷色再現色空間

⑤ パソコンで指定するWebセーフカラーは6桁の数字で色を表示する。

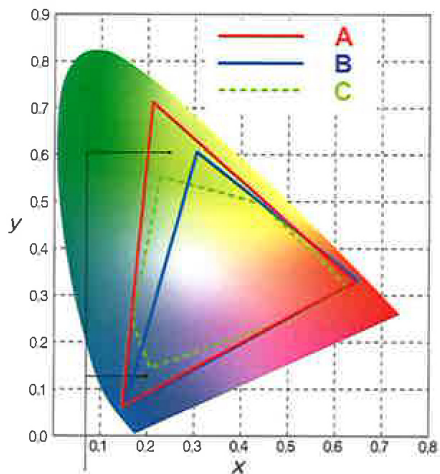
- ①～⑤は何色かを語群の中から選びなさい。
- ①#FFFFFF ②#000000 ③#FF0000 ④#00FF00
- ⑤#0000FF

- 白 黒 赤 緑 青



パソコン画面の例

⑥ -1下は3つの色空間における「色再現領域」を示しています。A（赤実線で囲まれた領域）、B（青実線で囲まれた領域）、C（緑点線で囲まれた領域）の色空間を語群から1つずつ選びなさい。



(C) 領域では緑や青領域色再現が難しい

- ①AdobeRGB色空間
- ②sRGB色空間
- ③印刷色再現色空間

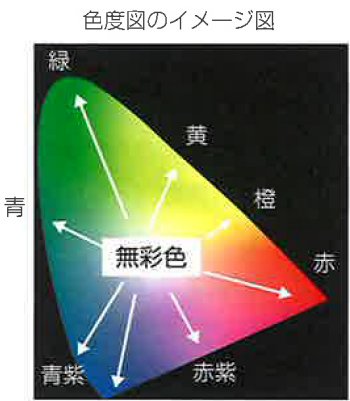
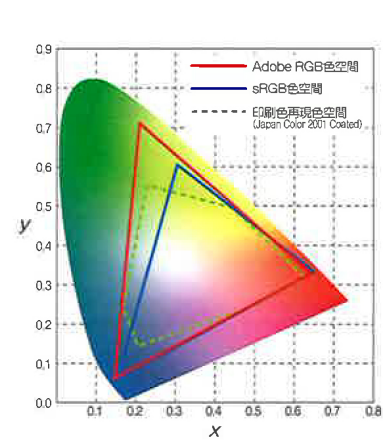
⑦ -2上の図を見ながら、正しい文には○、誤りのある文には×をしなさい。

- ①コンピュータ環境の色彩において、色がどの程度の範囲まで再現可能かを「色再現領域」という。
- ②色再現の領域の(A)は、(B)や(C)に比べて鮮やかな色が再現できないことを示している。
- ③一般に、緑周辺の色再現領域は狭いことから、鮮やかな緑色を印刷することが難しいことがわかる。
- ④デザイナーがパソコンのRGBで色指定する場合、CMYKでは再現できない色があることを知っておくと良い。

⑧ A～Dに適切な語句を語群から選び、文章を完成させなさい。

媒体によって色が再現できる領域のことを（ A ）といい、これを図にしたのが下に示した（ B ）である。パソコンやスマートフォンなど色光の方が、印刷の色より鮮やかな色が再現できることが、この図からもよくわかる。AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも三角形の面積が大きく、特に（ C ）成分の再現領域が広がっている。また、印刷色再現の色空間は面積が小さく、（ C ）成分だけでなく（ D ）成分も鮮やかな色を印刷することが難しいことを示している。

- ①CIExy色度図 ②sRGB色空間 ③色再現領域 ④赤 ⑤緑 ⑥青



(コンピュータ作業に関する基礎知識：ファイル形式について)
JPEGは約1677万色が表示でき、写真画像に向く。ただし、変換するたびに元画像から劣化する（非可逆性圧縮）。
GIF形式は256色しか表示できない。文字・図形・アニメーションに向く。

⑭ 景観色彩について誤りのあるものを1つ選びなさい。

- ①景観色彩では、人工要素と自然要素の色彩のバランスが大切である。
- ②建物の色彩は、長時間居続けるライフサイクルの長い色彩なので、できるだけ自分らしい個性を主張する。
- ③景観の色彩は、身近な雑貨のような感覚で色を選択するのは誤りである。周辺の色との調和やバランスを意識した色使いが大切である。一般住宅では、地域ごとに昔から用いられてきた「慣例色」を活用するとよい。

- 9 インテリアの記述として、正しい文を選びなさい。
- ①1Y8/4の壁紙に、10YR3/4のカーペットを置く。その配色はトーン・オン・トーン配色になる。
- ②7YR8/4の壁紙に5YR4/5のフローリング、2YR3/2のオークの家具を置いた部屋は全体としてトーン・イン・トーン配色になる。
- ③焦茶色のテーブルに濃紺の藍染のテーブルクロスを掛け、小豆色のランチョンマットを置いた。その配色はドミナントカラー配色になる。

- 10 下のダイニングルームは、窓からの光を取り入れた開放感のある空間に、ナチュラルな印象の北欧家具を合わせた。テーブル周りだけは、コントラストがあり食事が楽しくなるよう演出したい。A～Dに適切なマンセル値を語群から選びなさい。

●壁の色は(A)

※テーブルの色は N-9.0(白)

●ランチョンマットの色は(C)

●いすの色は(B)で、素材は木

●床の色は(D)、素材はフローリング

●戸棚：色は(B)で、素材は木

①5B 5/5	②10YR 7.5/3	③2Y 8.5/1
④5YR 5/12	⑤5P 7/2	⑥7YR 5/4

- 11 下段の色を見て、A～Dの問いに答えなさい。
- A リビングルームは温かさを感じる空間がよい。ソファの色とクッションの色を選びなさい。
- ①iのソファとaのクッション ②dのソファとgのクッション
- ③cのソファとkのクッション ④eのソファとgのクッション

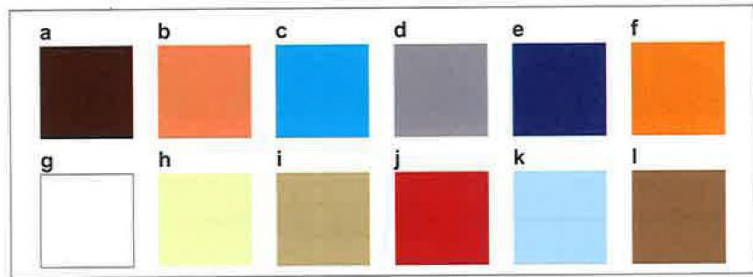


- B ダイニングルームについて、清潔感のあるテーブルクロスの色と食べ物がおおいそうに見えるランチョンマットの色を選びなさい。
- ①aのテーブルクロスとcのランチョンマット
- ②dのテーブルクロスとgのランチョンマット
- ③gのテーブルクロスとbのランチョンマット
- ④eのテーブルクロスとkのランチョンマット



- C 寝室は労働力再生産の場なので、のんびりできる空間がよい。壁紙の色とランプシェードの色を選びなさい。
- ①bの壁紙とcのシェード ②dの壁紙とfのシェード
- ③aの壁紙とkのシェード ④iの壁紙とfのシェード

- D 中学生の子供部屋は、適度な落ち着きをもたせ、北向きの部屋なので温かさを出したい。壁紙とカーペットの色を選びなさい。
- ①iの壁紙とcのカーペット ②dの壁紙とgのカーペット
- ③hの壁紙とlのカーペット ④jの壁紙とgのカーペット



- 12 景観の説明として誤りのあるものを1つ選びなさい。
- ①景観とは建物や道路などの「人工要素」のことである。
- ②景観とは建物や道路などの「人工要素」と樹木や海川などの「自然要素」より構成される。
- ③景観は、広義には、祭りやイベントの様子なども含まれる。
- ④景観は、日常的に多くの人の目に触れることから公共性の高いものになる。
- ⑤景観とは「屋外環境における全体の眺め」である。

- 13 景観をつくる要素として誤りのあるものを1つ選びなさい。
- ①屋外広告物やガードレールなどの道路施設など。
- ②樹木や道路は景観に含まれる。
- ③庁舎などの公共施設は景観に含まれる。
- ④遠くに見える建物も景観に含まれる。
- ⑤公共空間だけが対象で、オフィスなどの民間施設は含まれない。

- 15 A～Cに適切な言葉を入れて文章を完成させなさい。
- 景観色彩設計では、公的領域、境界領域、私的領域のうち、(A)と(B)が対象になる。(A)は、街路や公園などの公共空間である。(B)は(A)と私的領域をつなぐ領域で、住宅の外壁や屋根、玄関周りの色彩が対象となっている。
- また、自然が豊かな立地環境では、建物を自然の色調と(C)ことが基本である。

①公的領域	②境界領域	③私的領域
④コントラストをつける	⑤なじませる	

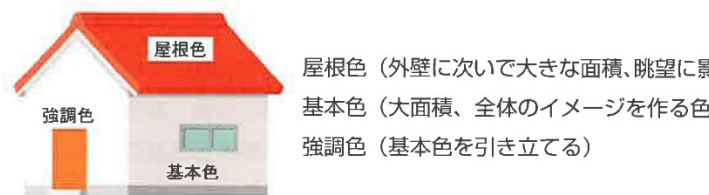


- 16 色彩管理について誤りのあるものを1つ選びなさい。
- ①住宅の色彩設計に用いるカラーサンプルは面積効果を考慮すべきである。
- ②カラーサンプルよりも、実際はくすんで見えることが多い。
- ③カラーサンプルでは暗い色はより暗く見える場合もある。
- ④住宅の色彩管理ではA4サイズ以上の大型見本がよい。
- ⑤一般に、高彩度や高明度の色彩は退色しやすい。

- 17 景観の色彩を測る時の注意点として、正しいもの3つを選びなさい。
- ①建物の外壁や屋根に色票を直接当てて色を厳密に測る必要がある。
- ②建物の外壁や屋根を適当な距離から眺めて、色票と照らし合わせて色を測るのがよい。
- ③建物の外壁など大きな面積を占める部分だけの色を把握する。
- ④建物の外壁など大面積を占める部分だけでなく、小面積でも街並みを構成する素材や、自然要素も合わせて色を測る。
- ⑤景観色彩の色の調査には、マンセル表色系の色票がよく用いられる。

- 18 住宅の配色計画の説明として適切なものを語群から選びなさい。
- ・配色計画は、外壁の大面積を占める(A)の検討から始める。
- ・基本的には、周辺環境の色彩と(B)色を選ぶ。
- ・(A)の次に(C)を検討し配色のまとまりを考える。

A	①基本色	②屋根色	③強調色
B	①馴染む	②コントラストのある	③中和する
C	①基本色	②屋根色	③強調色



- 19 住宅の色彩設計のプロセスとして、正しいものを1つ選びなさい。
- ①「設計条件の把握」→「周辺環境の調査」→「色彩コンセプト策定」→「色彩提案」→「色彩施工管理」
- ②「設計条件の把握」→「色彩提案」→「色彩コンセプト策定」→「色彩設計」→「周辺環境の調査」→「色彩施工管理」
- ③「設計条件の把握」→「周辺環境の調査」→「色彩施工管理」→「色彩設計」→「色彩提案」→「色彩コンセプト策定」
- ④「設計条件の把握」→「色彩コンセプト策定」→「色彩提案」→「色彩設計」→「周辺環境の調査」→「色彩施工管理」

- 20 景観色彩について、誤りのあるものを選びなさい。
- ①景観色彩において、大きな面積を占める建物の色彩は、周囲の色から際立たせることが基本となる。
- ②景観色彩において、個性を単独に見るのではなく周辺との色彩調和を心がけ、全体の眺めをバランスよく調整する。
- ③街並みの色彩には、気候風土に育まれた色彩を景観の基調色とする方法がある。



ドゥブロヴニク（クロアチア）「青」い海に「橙」の屋根（補色）



長町武家屋敷跡（金沢市）